

## ●まちのニュース

### ○西大通りの植替え予定の桜の続報

前号でお知らせした植替え予定の桜です。発注者：玉川公園管理事務所と施工者の連名で右の掲示が出ています。(転記、下線は、加筆)



この桜の 2015 年の姿(右)

### サクラ植替えのお知らせ

近隣にお住まいの方々へ

日頃より世田谷区の緑化事業にご関心・ご協力を賜り誠に有難うございます。

深沢八丁目 19 番先街路樹(サクラ)につきましては以前より樹勢が衰え、経過観察しておりましたが、樹木医による診断の結果、鯨肌胴枯病の疑い有りと診断されました。他の固(原文のまま)体に感染する恐れがある為、近日中に植替えをする事になりました。永い間親しまれた方々には、非常に残念な事ですが、何卒ご理解のほどを賜りたく宜しくお願い致します。

作業日時 伐採：令和元年 6 月中旬

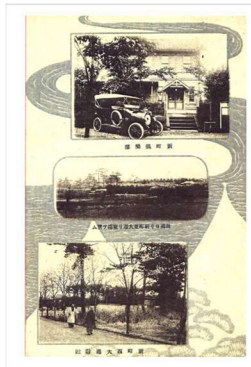
植付：サクラの休眠期(12 月～1 月頃)に行う予定です。



ことしの開花期の姿

## ●さくらフォーラムから

- ・のぼり旗をつくりました。来年のさくらまつりの当会フースの目印になります。
- ・ホームページとフェイスブックページをご覧ください。  
**ホームページ** (<http://sakura-forum.jimdo.com/>)では、  
  - ・ニュースレター「さくら・さくら」のバックナンバー(第 12 号～最新号)
  - ／・地域のマップと景観写真のポップアップ
  - ／・新町住宅地関連資料リストなどを掲載しています。**フェイスブックページ**では、ことしの開花期の桜の写真をご覧になれます。
- ・ポストカードを発売しています。(各 100 円)



左と上  
新町住宅地分譲初期の  
絵葉書の復刻版



右  
1936 年頃の航空写真(上に  
同じ)と 2018 年の航空写真



- ・『**深沢・桜新町 100 年史**』(定価 500 円)を配布しています。(A5 版、全カラー、表紙共 72 ページ)  
  - ・分譲開始(1913 年)前夜からの深沢・桜新町の 100 年をまとめました。
- ・**会員募集中**：この地域の景観・環境・みどりなどに関心のおありの方は、ぜひ、ご参加ください。

発行元：深沢・桜新町さくらフォーラム <http://sakura-forum.jimdo.com/>  
 〒158-0081 世田谷区深沢 8-19-6 フェリックス気付 電話：03(3702)3274 FAX：03(3702)3219

©深沢・桜新町さくらフォーラム、2019

世田谷区地域の絆ネットワーク支援事業補助金を受けて作成しました。



深沢・桜新町さくらフォーラムは、地域の風景づくりの活動に取り組む市民団体です。<http://sakura-forum.jimdo.com/>  
 2 面：「新町住宅地」についての Q&A、3 面：サザエさん通りのツバメ、サクラデータマップ、4 面：まちのニュースほか

## 雑誌「東京人」9 月号 「私鉄がつくったまち」特集で 私鉄沿線の特徴あるまちづくりとして 新町住宅地が紹介されました



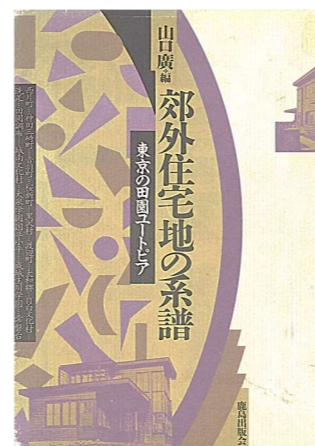
発行元の下承を得て掲載

新町住宅地(1913 年分譲開始)は、現在の桜新町 1 丁目、深沢 7、8 丁目にまたがる約 23.5ha の分譲地で、「東京人」では、「東京の分譲地のパイオニア」として紹介されました。

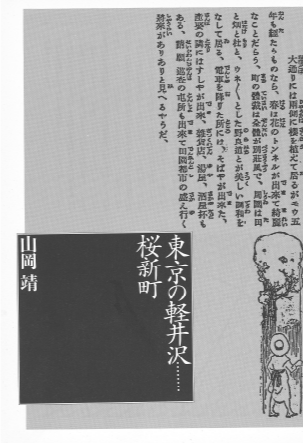
世田谷区内では、ほかに北沢分譲地(上北沢)と成城が、東急電鉄沿線では、田園都市(田園調布ほか)と多摩田園都市が紹介されています。

## 新町住宅地を全国で紹介して下さった山岡靖さんを囲んで お話と懇談の集いへのお誘い

### 11 月 4 日(月・祝)開催



『郊外住宅地の系譜』



『東京の軽井沢...桜新町』

山岡靖さんは、「郊外住宅地の系譜」(山口廣編、1987 年、鹿島出版会)の中の「東京の軽井沢一桜新町」を執筆されました。学生時代に通学の目黒駅～成城学園前駅間のバスの車窓からご覧になった桜新町の街並みに興味をもち、まとめられた卒業論文を元に書かれたものです。

深沢・桜新町さくらフォーラムのアドバイザーをお願いしています。今回は、2008 年の当フォーラム発足記念に 2 回にわたってご講演いただいで以来の機会です。

どうぞお楽しみに！！



日時：11 月 4 日(月・祝) 14 時～16 時半(予定)(13 時 45 分開場)  
 場所：桜新町区民集会所第一会議室 参加：無料、申込み不要

お持ちの方は『深沢・桜新町 100 年史』をご持参ください。当日、販売もいたします。

## 「新町住宅地」についてのQ&A

### ●玉電(田園都市線の前身)と新町住宅地

(東京信託(株)による分譲地)の関係は? →右表

- ・玉川(現在の二子玉川)と都心を結ぶ電車(玉電)の敷設は容易でなかったようですが、住宅地開発の計画をもっていた東京信託(株)の出資によって一気に進展しました。
- ・見返りとして、住宅地入口になる西への新町停留所の移設と元の停留所名の弦巻への変更、入居者への玉電の割引運賃の適用、住宅地への電気供給などが実現しました。

### ●新町、桜新町、深沢-地名の変遷は? →右表

- ・現在の桜新町駅周辺は、江戸時代に世田ヶ谷新町として開発されました。新町住宅地の範囲には含まれていませんでした。
- ・桜並木が有名になり、1932(昭和7)年に停留所名が桜新町になりました。
- ・桜新町が地名になるのは、住居表示が導入された1968(昭和43)年です。

### ●別荘地として開発?

- ・「都会の利便と田園の趣味とを調和した理想的な生活地を提供し、これを玉川の新町と称す。」(東京朝日新聞大正2年5月8日広告)とあり、分譲パンフレットの内容も居住地を想定したものでした。
- ・分譲初期には別荘としての利用もありましたが、次第に居住利用に収れんしていったようです。

### ●富裕層向けの分譲地?

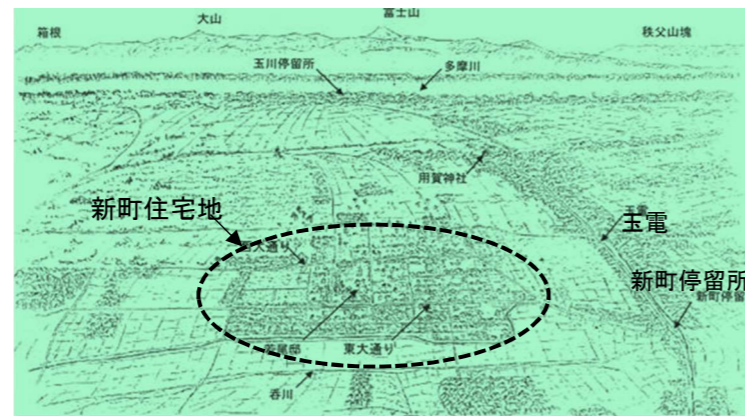
- ・粕谷さん「この分譲は、十年くらいの分割払いも可能でね。それを利用してという人もけっこういたからな。裕福な人もそりゃたくさんいたが、全てがそうじゃなかった。」

### ●キャッチフレーズ「東京の軽井沢」はどこから?

- ・粕谷さん「非常に閑静な屋敷町ということで、『東京の軽井沢』といわれたもんだ。」
- ・山岡靖さんが収集され著作「東京の軽井沢-桜新町」に掲載された昭和初期の中古住宅のチラシ(右)に「東京の軽井沢」と記載されています。(『100年史』p11に転載)
- ・著作のタイトルが読者に強い印象を与えたようですが、山岡さんは、「軽井沢として開発」と紹介されたわけではありません。

開発経緯	玉川電車(玉電)	新町住宅地
1996(明治29)	玉川砂利電気鉄道出願	
1903(明治33)	玉川電気鉄道(株)発足	東京信託社創業
1906(明治39)	東京信託(株)設立 玉川電気鉄道(株)に出資	
1907(明治40)	玉川電車開通	
1908(明治41)	電灯電力供給事業開始	
1911(明治44)	新町停留所を西に移設	用地買収
1912(大正1)	弦巻停留所を開設	宅地造成
1913(大正2)		分譲開始

地名の変遷	新町→桜新町	深沢(新町住宅地の範囲)
1989(明治22)	駒沢村大字 世田ヶ谷新町	駒沢村大字深沢 玉川村大字野良田、ほか
1925(大正14)	駒沢町 大字新町	
1932(昭和7) (世田谷区成立)	新町1丁目	深沢町4丁目 (新町住宅地全域を含む)
1968(昭和43) (住居表示導入)	駅前通り以南 桜新町1丁目	246号以北 246号以南 深沢8丁目 7丁目北側

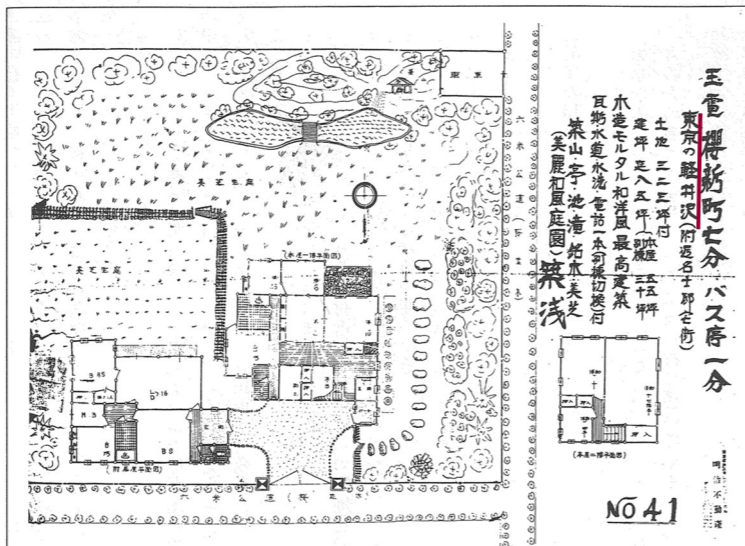


作図: 荒木進さん 景観印象図(昭和初年頃)に加筆



### 粕谷由二さんの語り

菅沼元治『私たちのまち 桜新町の歩み』(1980年発行) p24によりますと、当時77歳だった粕谷さんは、7歳のときからこの地に住んでいらっしやったとのこと-新町住宅地分譲前の1910年頃からお住まいということになります。



「東京の軽井沢-桜新町」p96(赤線は、当会加筆)

## サザエさん通りのツバメその後

サザエさん通りの薬局でのツバメ営巣について、ツバメと温かく見守る店員さんの奮闘ぶりをニュースレター第28号(2017年10月発行)で報告した。昨2018年は5月に産卵し抱卵を始めたものの、カラスに襲われたか抱卵を途中で放棄してしまった。今年2019年は、なんと店員さんが置いた棕櫚製の籠を使って営巣し、店員さん特製のカラス除けの効果もあって2羽が無事育った\*。人口の巣を使う例は多くない。カラスの被害を受けやすい場所なのによほど気に入っているのだろう。

さて、我々のグループは2000年、2010年に世田谷区内全域のツバメ営巣調査を行い、その後も桜新町の継続調査を行っている。次回全域調査のために2018年、2019年に予備調査を行い、2020年、2021年に詳細本調査を行って繁殖数、巣立ちヒナ数を把握する予定である。

右図は過去の桜新町でのツバメ繁殖調査結果である。2000年頃は4、5か所で営巣し、10羽前後のヒナが巣立っていた。2011年には営巣箇所も倍増し、40羽近いヒナが巣立ったが、その後は営巣数、ヒナ数とも減少傾向にある。ただ区内全域では増加傾向の町もあり、砧1丁目のタクシー会社のように1つの建物に30近い巣が見られる例もある。来年からの区内全域調査で確認し、またご報告したい。

\* 写真には3羽写っているが、途中で落下しカラスにもっていかれたか、巣立ったのは2羽だった。

(一財)世田谷トラストまちづくり 野鳥ボランティア 山田 茂夫(桜新町1丁目在住)

ニュースレター第23号(2016年7月)でのツバメの営巣紹介、第28号(2017年10月)での山田さんによるご寄稿に次いで、今回もご寄稿いただきました。

### 桜並木サクラデータマップ(仮称)を作成中です。

旧・新町住宅地の桜並木の157本全部の樹木位置と番号を地図上にプロットし、番号をクリックすると、その樹の姿の写真がアップされるサイトです。

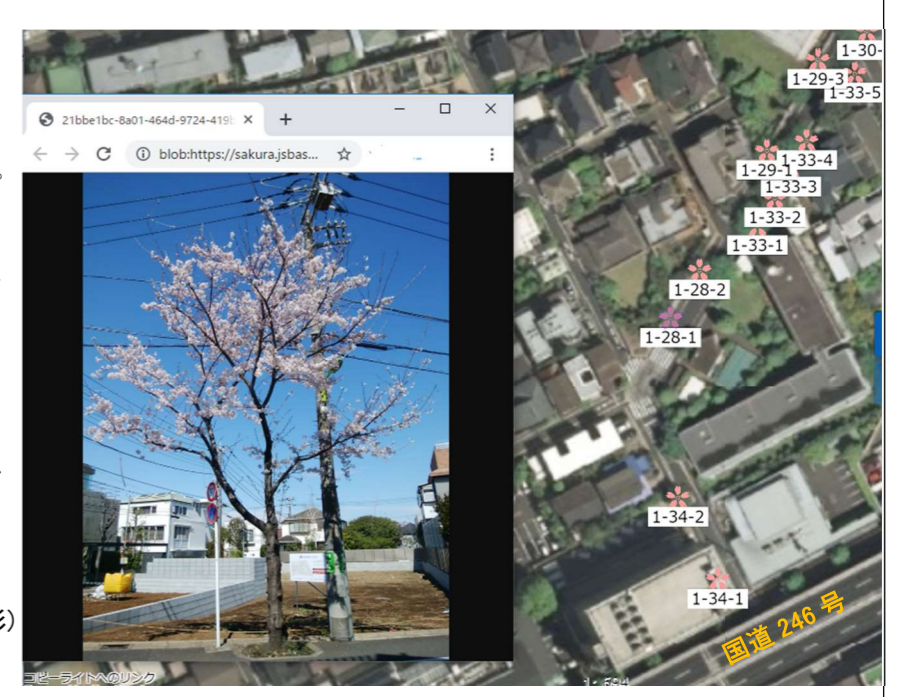
植え替えられた時期や生育状況の情報もできる限り掲載します。

次号で詳しくお知らせする予定です。

出典: 国土地理院。地理院タイル一覧ページ

(国土地理院撮影の空中写真(2007年以降撮影))

<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>



3羽が人口の巣でスクスク育っています  
白いカバーは店員さん御手製のカラス除け

### 桜新町のツバメ繁殖

